

第3回青少年赤十字 救急法交流会参加 活動 報告書

活動日：2013年11月24日(日) 9:30~15:30 [9:00~受付]

会場：神奈川県立 保健福祉大学 アリーナ

参加者：3年 長瀬厚基・佐藤恵太・閨間勝海・岩崎竜英

持ち物：ジャージ、体育館履き、昼食、三角巾

報告者：長瀬厚基・佐藤恵太・閨間勝海

補筆 武田・校正 伊藤



全員での記念撮影

《参加校》	県立海洋科学高等学校	8名
	県立釜利谷高等学校	6名
	県立二俣川看護福祉高等学校	15名
	県立保土ヶ谷高等学校	9名
	県立明光高等学校	8名
	市立みなと総合高等学校	8名
	湘南学院高等学校	9名
	洗足学園中学高等学校	13名
	鶴見大学附属高等学校	8名
	白鵬女子高等学校	4名
	横浜高等学校	10名
	三浦学苑高等学校	4名
	市立中和田小学校	11名
	シンガポール赤十字メンバー	7名
	13校 計120名	

《タイムスケジュール》

9:00	受付開始
9:30	開会式
9:50	チームミーティング
10:40	本結びリレー ~むすんでひらいて~
10:55	三角巾リレー ~走れ!救急車~
11:50	昼食・休憩
12:35	シンガポールメンバー紹介・交流
12:50	レクリエーション ~〇×クイズ~
13:20	担架リレー ~大玉運び~
14:10	災害救助 ~海猿~
14:50	綱引き
15:10	閉会式
15:30	解散

◆ 参加の理由と目的

- ①本校の JRC 活動の活性化に繋がると考えたため
- ②参加の意味を考え、今後の活動の参考にしつつ、他校参加者の意識と活動内容を知るため
- ③JRC 加盟校との交流を深めつつ、救急法を学び、緊急時に即応した対応力を養う



交流会での活動の様子

◆ 活動内容

競技は各校どうして競い合うものではなく、各校のメンバーがバラバラになり、赤・青・緑の三色に分かれ、三色チーム対抗の形で活動が行われました。救急法の要点を盛り込みながら、基本動作の確認するような競技をゲーム感覚で行いました。本結びなど、実際によく使う基本的な動作から災害援助を行うための応用的な動作まで、様々な救急法をゲーム感覚で盛り込まれた内容でした。それでも私たちがのように今年初めて参加したものにとっては学ぶものがたくさんありました。

競技を通して感じたことは、緊張や焦りによって簡単な動作でもミスしたり判断が鈍ってしまったり、うまくいかなることがあるということに気付かされました。災害本番だったらと思うと心配になりました。

◆ 「チームワークの大切さについて」 感想とまとめ

行なった競技は協力して行うものであり、実際の災害援助では救護だけでなく応援を呼んだり必要な物資を取りに行ってもらえる等の共助の精神が必要とされることを強く感じました。

自分のチームを応援している姿は、団結心や協調性が養われると思いました。何気ない応援風景にも意味があります。交流会の運営については、進行がスムーズだったので担当生徒の打合せや、それぞれの連携ができていたのではないかと思います。ぜひ、その動きを学びたいです。

今回の交流会からは、救急法や赤十字についてや、国際協力の必要性などを考えさせられました。自分の中にインプットされたように感じます。

当然のことですが、日常的に赤十字活動に専念しているわけではない私たち生徒会という組織では、知識や技術の面で大きな差を感じました。今後は、講習等を繰り返して行えるような企画を立ち上げる必要を感じました。日々の技術の向上は必要です。

私たちとしては、年間の計画を練り直し、どうしたら講習会等を生徒会活動上に盛り込めるか検討していくべきです。そして生徒会全員で講習会に参加できるような体制を作っていきたいものです。技術の裏付けがあり、経験値を高めていくところこそ、防災への対応能力が見えてくると考えます。3年生として後輩に申し送るつもりです。

記 3年 長瀬厚基 佐藤恵太 関間勝海